



天気予報の「ヘクトパスカル」って何なの

ヘクトパスカルは気圧を表す単位

テレビやラジオなどで天気予報を聞いていると、よく、ヘクトパスカルという言葉を目にします。

このヘクトパスカルは、気圧の単位を表すことばです。

気圧を表す単位は、長い間、ミリバールが使用されていましたが、平成4年から、このヘクトパスカルが採用されたのです。

これは、1960年（昭和35年）の国際的な取り決めにしたがって、日本でも採用されたのです。

1ミリバールは1ヘクトパスカルと大きさは同じで、「中心気圧960ミリバール」が、「中心気圧960ヘクトパスカル」というようになっています。

ヘクトパスカルはパスカルにちなんだ言葉

このヘクトパスカルは、「人間は考える葦（あし）である」という有名な言葉を残したフランスの哲学・数学・物理学者パスカル（1623～1662年）にちなんでつけられた単位です。

また、ヘクトは100倍という意味で、単位を表す言葉の前につけられます。

（監修 村山貢司）

